



日産 e.dams、フォーミュラ E 第 10 戦で今シーズン初優勝

日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、社長：内田 誠）は、ABB FIA フォーミュラ E 選手権第 10 戦ベルリン大会に参戦し、オリバー ローランドが今シーズンのチーム初優勝を飾りました。

スーパーポールセッションで 1 位となったローランドはポールポジションを獲得し、決勝でも全周回にわたってトップを走行して、フォーミュラ E における初優勝を飾りました。セバスチャン ブエミは予選 22 位からスタートして、決勝は 10 位でゴールしました。

「今日は素晴らしいレースで、ローランドが感動的な勝利を飾りました。優れたエネルギーマネジメントによって予選、決勝ともに速さを見せ、フォーミュラ E における完璧なレース展開でした。今日の勝利でチームはさらに勢いを増して明日の最終戦に臨み、チームランキングの 2 位確保を目指します」と、日産のグローバルモータースポーツダイレクターのトマソ ヴォルペは語りました。

今回のレースで日産 e.dams は 29 ポイントを獲得し、チームランキング 2 位を維持しています。また、ローランドは今大会の優勝により、ドライバーズランキングで 2 位に浮上しました。今シーズンは残り 1 レースとなります。

日産 e.dams チーム監督であるオリビエ ドリオは、「ローランドのポール・トゥ・ウィンは素晴らしいかったです。チームは 2 人のドライバーのためにしっかりと準備をし、ブエミは 22 番手から 10 番手まで順位を上げ、チャンピオンを経験したドライバーならではの精神力とテクニックを見せてくれました。今シーズンのフィナーレに向けたチームの努力が実を結んでいます。最後のレースを楽しみにしています」と今大会の戦いぶりを振り返りました。

ドライバーコメント

オリバー ローランド：

「チームには感謝してもしきれません。今回の優勝は、私のキャリアの中で最大の勝利であり、特に参戦しているドライバーたちの高いレベルを考えると、これ以上の勝利はありません。このようなトップドライバーたちを相手に戦い、優勝できたことは本当に素晴らしいことです。今シーズンは自信を失って、コンマ 2~3 秒ほど差をつけられてしまうことが何度ありましたが、前レースでスーパーポールセッションに進出し、3 番手からスタートしたことが良いステップになりました。今ではすべてがうまくいっています。チームは本当に良くやってくれていますし、マシンは最高です。今シーズンの終盤はずっと好調なパフォーマンスを維持しており、この勢いを来シーズンにつなげていきたいです。」

セバスチャン ブエミ：

「今日は今シーズン最高のレースだったと思います。速さも見せましたし、他チームやドライ

NISSAN  INTELLIGENT MOBILITY

RICHARD MILLE



LEMO

CFI CREDIT FINANCER INVEST



バーを相手に正々堂々と勝つことができましたと思います。ベルリンでの 1 週間で大幅な改善ができたことを示しています。一日を通して、とても競争力があったと感じました。もちろん自身の予選の結果には少しがっかりしましたが、チームとローランドにとっては本当に嬉しい結果です。オフシーズンは本当によく頑張ってきましたし、チームランキングでも 2 位を狙える位置にいます。明日の最終戦を楽しみにしています」

サーキット情報

ベルリン e-Prix テンペルホーフ空港

ラウンド 10 と 11 の構成

新しいレイアウトで反時計回りに走行

全長：2.505km

ターン：16 ターン

第 11 戦のスケジュール

8 月 13 日、木曜日

11:30～12:15：練習 3

14:15～14:51：予選

15:00～15:20：スーパーポールセッション

19:03：レース（45 分+1 ラップ）

以上

NISSAN  INTELLIGENT MOBILITY

RICHARD MILLE

